

## ◆ 平成30年度活動報告シート ◆

団体名：NPO法人 ジョイライフさやま

21A-02

代表者：代表理事 久保田慎三郎

URL : <http://www.joylife.or.jp>

---

### 1. 活動が必要とされた状況



一級河川入間川と周辺の樹林は人々にとって潤いと憩いの出来る自然環境となっています。岸辺の樹林で下草刈り、伐採を行いハリエンジュの繁殖を抑え、岸辺を子供たちと環境学習が行える場とする活動は大切な事業と考えています。この事業で新たな市民との出会いを広げ、環境保全に取り組んでいける事業として、地域が活性化され、街づくりに貢献できる活動として創出していきます。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）



1年を通して樹林保全整備に取り組ながら藪化した樹林を整備し、散歩しながら周辺を散策する市民と語り、夏休みの環境学習と体験事業を行う催しを定例会で承認され「環境の未来と夢を子供たちとともに」の活動を草加パドラーズの会員、川の国生き物アドバイザーの方々の指導を頂き開催いたしました。自然を守り、大切にすることを養い、世代間交流を交え、次世代につなげる事業として行っていきたいと考えています。



生き物を調べようでは生き物アドバイザーの小見寺氏、カヤックの乗り方体験では草加パドラーズの中島氏により川に入る安全対策や漂流ごみの収集の仕方を指導、川の生き物では捕獲した生物による川の生態系、水質調査まで環境に対する自然学習を行うことが出来ました。入間川の水質調査ではかなりきれいな水質であることが分かり、安心して川に入ることが出来そうです。

### 3. 活動の成果



カヤックに乗るための栈橋を作り、終了後には川に生き物を返し、川遊びをする子供たちが名残惜しそうに水遊びをしています。本日の参加者は大人子供合わせて66名、スタッフボランティア18名、合計84名の参加と成りました。来期もまた充実した環境学習を行いたいと思っています。自然を知り、大切に思う心は環境の未来と夢を次世代につなげる大事な事業と成りそうです。

### 4. 今後に残された課題

事業は安全に終了しましたが、川や森に対する安全マニュアルの作成が必要であろうとおもいました。川や森の働きやリスク等で安全確保の技術や技能の習得を学ぶ必要があると感じています。